

未来に納める

永平寺町松岡中学校3年 林 愛子

私は毎年のように祖父が山で掘ったタケノコをいろいろな料理で食べさせてもらっている。今年の春は、その山で私も家族と一緒にタケノコを探してみたが、なかなかうまく見つけられない。その山は祖父が定期的に山に入つて草を刈ったり、枝を切つてあるので、なんとか歩けるのだが、少し先に見える森は太くて立派な木がたくさん生えており、とても歩けそうな場所ではない。かわいい鳥の声は聞こえるが、虫がたくさんいて正直早く帰りたいと思った。人が入らないところは誰が管理しているのだろうか。

税金について調べようと思った時に、最近新しい税金が始まった事を知つた。「森林環境税」というものらしい。森林が持つ役割はいくつかあるそうだ。温室効果ガスの吸收による地球温暖化の抑制、洪水や土砂災害の防止、生物多様性の保全など、様々な役割がある。最近はニュースで集中豪雨や台風による水害が全国各地で起きているのをよく見かける。日本中どこでも起きるので本当に怖いと思う。防災という点でも森林は大事な役割を持っているそうだ。

私が住んでいる永平寺町の森林環境税がどのように使われているのかをホームページで調べてみた。自治会にある林道の維持管理として、側溝の土砂上げ、草刈り等の整備、人力ではできない作業に使用する高性能の林業機械の支援をしていることを知つた。また、災害を未然に防止するために、住宅などに近い山ぎわの危険木を切つたりする森林整備をする費用も支援しているそうだ。森林環境税はその地域にあった森林の維持管理に活用されていることが分かつた。税金とは私たちの知らないところで、私たちが当たり前に安全に生活できるように活用されているのだと感じることができた。

私はまだ中学生で税金を納めているわけではないし、「森林環境税」を納めている、と聞いてもピンとこない。ただ、私の生活の中のいろいろなところで税金が使われていて、当たり前に私の生活を安全に守ってくれているのが税金である。また、新しく始まった「森林環境税」は税金を納める事によって森林を守ることになり、環境保全や防災につながっていくと思うと何十年、何百年先の未来のためにとても大事なものだと思った。一人一人から集まる税金の額はわずかでも、それがたくさん集まれば大きな力となって、私たちの生活をよりよいものにしてくれるのが税金であると思う。